

オフィスで、お店で、まちなかで木を使おう！

木づかいのススメ



企業の中に木材を利用して職場環境を良くすることが企業活動の向上につながるという考え方が注目されています。

また、オフィス、学校、店舗などの木質化も広まりつつあります。

木づかい運動

毎日の生活に国産材製品を取り入れるだけで

誰でも手軽にはじめられるエコ運動

それが「木づかい」です

「木づかい＝木を使うこと」

木を知り・木を使い・木を活かし・森を育む

それは、地球環境への気づきです

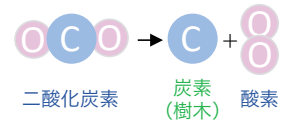


木の成長と地球温暖化防止

現在、地球温暖化が世界共通の問題となっていますが、森林は私たちが生活の中で排出する二酸化炭素(CO₂)を吸収しています。

木は、「光合成」により二酸化炭素を吸収し、炭素(C)を蓄積・固定して成長します。そして木材となり炭素を蓄積・固定し続けます。

木材の重量の約半分は炭素であり、木材は炭素を固定した、環境にやさしい資材といえます。



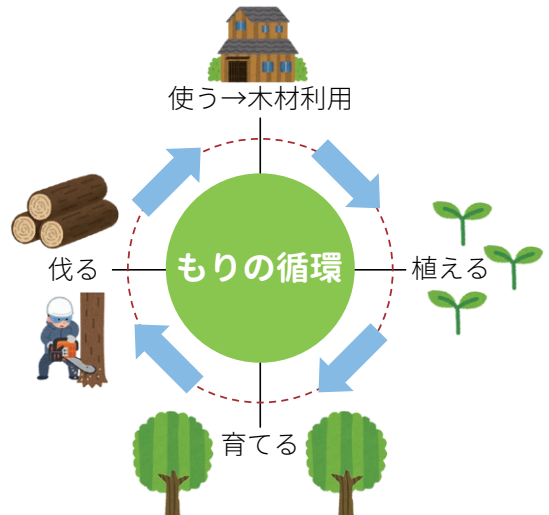
木をつかう = 環境や社会にやさしい

木は再生可能な資源です。

上手に木を使うことが「持続可能な社会」につながり暮らしを豊かにします。

植えて ▶ 育てて ▶ 伐って
▶ 使って ▶ また植える

という循環は、地球温暖化の防止に加え、地域の活性化や森林の多面的機能の発揮に貢献します。



民間企業に広がる木材利用

木のもつぬくもりや軽さといった特性の活用や環境への配慮があります。



建物の外装



カフェ内装



喫茶内装



金融機関内装



キッズスペース・遊具

木材利用の時代（なぜ木を選ぶのか）

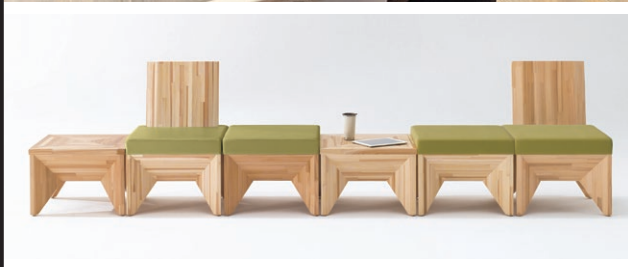
1. 戦後造林された人工林は利用期を迎え、十分な蓄積があります。*
2. 新たな製品や技術の開発、建築基準法などの改正により、住宅用途以外の中大規模建築や高層建築の木造化が可能になりました。
3. 建設コストは鉄骨造や鉄筋コンクリート造より経済的な場合もあります。

※「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」（2010年）では過去の非木造化の考え方が、公共建築物については可能な限り木造化、木質化を図るという考え方に転換されました。民間の病院や福祉施設でも木造化やインテリア・エクステリアの木質化の推進をしています。

2020年のオリンピック・パラリンピックの競技会場でも積極的な木材利用が進められています。



オフィススペース



ベンチ類



机・椅子・書架など

SDGsに貢献する木質化

SDGs(持続可能な開発目標)とは2030年までに世界で取り組む環境改善の課題として国連サミットで採択された17の目標です。

森林・林業・木材産業に関わる取り組みが、SDGsの課題解決に大きく寄与することが期待されています。



人の居る場所、触れるもの
もっと木にしてみませんか



木を使ったギフト類



木づかい.com : 木づかい運動について多くの情報が集まるポータルサイト
「木づかい」友の会も会員募集中 <http://www.kidukai.com/>



ウッド・チェンジ・ネットワーク : 建設事業者、設計事業者や企業による木材利用促進のためのネットワーク <http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wcn.html>



木材・木造建築物関係のハンドブック
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/handbook.html>



木に変える。私も変わる！ Love Kinohei
<https://love.kinohei.jp/>



時流をつかめ！ 企業価値を高める木造建築
https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2019/post-535.html



NPO 法人 活木活木森ネットワーク
<http://www.iki-mori.net/>



林野庁
<http://www.rinya.maff.go.jp/>